

イオンモール豊川に「地域貢献計画書」に対する要望書を提出

8月3日(水)、桜町連区、八南連区、代田校区で作成した要望書*¹を市役所において、イオンモール株式会社の岩村康次社長宛に3連区代表9名が出席し、鈴川桜町連区長が代表して「地元要望を果たして頂くよう真摯な対応をお願いしたい。」旨を伝え、イオンモール愛知事業部長の鈴木秀一氏に要望書を手渡しました。これに対し鈴木事業部長からは「内容を検討して相互ともに理解できるよう地域の一員として今後とも末永くよろしくをお願いしたい。」と述べた。

この後、市担当者から、要望に係る竹本市長のコメントとして、「地元連区校区の自主的なまちづくり活動に敬意を表するとともに、イオンモールに対し、開業に伴う交通量の増加など影響があると考えられる地元の皆さんからの要望であるため、真摯な対応をお願いしたい。また、本市全体として約3千人の雇用を創出し人口の社会増に貢献して頂けるほか、市との防災協定の締結、まちづくりに関する連携など、必要な地域貢献を果たして頂けることも大いに期待している。イオンモール豊川の開業が市民に親しまれ『もっと元気なとよかわ』の起爆剤となるよう引き続き真摯な対応を重ねてお願いさせていただきます。」と読み上げられました。

また、イオン鈴木部長からは来春のオープン時、記念植樹を計画しているので地域の皆さんに理解し参加して頂きたい旨の説明もあった。

最後にオープン後もイオンと3連区が共存共栄し、知恵を出し合い地域の発展に務めること双方で確認した。

要望書提出後、3連区校区の出席者で議長室に早川議長、井川副議長を訪ね要望書提出の報告を説明した。

鈴川連区長から、市全体が発展するよう議会としても協力をお願いしたいと述べ。これに対し早川議長からは「地域、市全体、または、東三河全体の発展のため、議会としても協力する。」旨の回答があった。

【*1】 地域貢献計画書に対する「要望書」について

内容は今春それぞれの連区校区で実施しました「イオンモール豊川に係る地域貢献」に関するアンケートを基に以下の6項目に纏めたものです。

1. 地域づくりの取組みへの協力について
2. 地域雇用確保への協力について
3. 防犯・青少年非行防止対策の推進について
4. 地域防災への協力について
5. ユニバーサルデザイン対策等の推進について
6. 環境対策の推進について

以上